

千葉県国民健康保険 データヘルス計画
平成29年度 個別保健事業評価

平成31年3月
千葉県

目次

1	事業概要及び評価指標の達成状況	1
	(1)「特定健康診査の受診率の向上」	1
	(2)「特定保健指導の実施率の向上」	1
	(3)「適正な医療の推奨と重症化予防」	1
2	事業評価詳細	2
	(1)「特定健康診査の受診率の向上」	2
	(2)「特定保健指導の実施率の向上」	8
	(3)「適正な医療の推奨と重症化予防」	17

1 事業概要及び評価指標の達成状況

(1) 「特定健康診査の受診率の向上」

事業（対策）	平成29年度事業概要	評価指標		H26	H27	H28	H29
健診未受診者への受診勧奨	H29年度から企画提案方式で民間事業者のノウハウを活用した勧奨を行った。 ①はがきによる受診勧奨（120,880人） 過去の健診結果やレセプト有無を基に居住区別に144パターンの通知を作成し発送。 ②はがきによる再勧奨通知（56,457人） 過去の受診歴等から9パターンの通知を発送。 ③ショートメッセージサービスでの勧奨（3,896人）	長期未受診者*1の割合	目標	-	47.0%以下	46.0%以下	45.0%以下
			実績	48.0%	47.5%	46.6%	45.7%
		40～59歳の受診率	目標	-	17.0%以上	18.0%以上	19.0%以上
			実績	16.0%	18.1%	17.4%	18.8%
継続受診の促進	健診結果のお知らせ（対象者71,047人） 平成24～28年度の間を受診歴がある対象者に経年結果を通知し、継続受診の必要性を伝える。	継続受診率*2	目標	-	73.0%以上	74.0%以上	75.0%以上
			実績	71.3%	71.2%	67.7%	69.1%

(2) 「特定保健指導の実施率の向上」

事業（対策）	平成29年度事業概要	評価指標		H26	H27	H28	H29	
利用促進	H28に引き続き、民間事業者への委託により、対象者全員に架電し、特定保健指導の利用開始及び継続利用を勧奨している。	利用率*3	動機付支援	目標	-	14.4%以上	18.0%以上	19.0%以上
			実績	13.4%	12.4%	17.2%	18.8%	
		積極的支援	目標	-	10.5%以上	13.0%以上	15.0%以上	
			実績	8.5%	7.7%	16.4%	15.8%	
保健指導における利便性の向上	H28に引き続き積極的支援の実施機関を健診実施医療機関以外に民間事業者にも拡大し、初回面談の休日実施や電子メール等による保健指導により、利用者の利便性を高める。	終了率*4	動機付支援	目標	-	86.0%以上	86.0%以上	86.0%以上
			実績	86.0%	82.1%	87.6%	85.3%	
		積極的支援	目標	-	43.0%以上	49.0%以上	50.0%以上	
			実績	42.7%	35.0%	41.0%	57.6%	

(3) 「適正な医療の推奨と重症化予防」

事業（対策）	平成29年度事業概要	評価指標		H26	H27	H28	H29
受療勧奨と保健指導	受療勧奨をする旨を事前通知をした後に、訪問・電話等により保健師・看護師が通院勧奨及び生活習慣の指導を行う。また、初回指導から6か月後に電話等で通院の有無及び生活習慣改善状況を確認し、再度の指導を行う。	受療率	目標	-	42.0%以上	43.0%以上	44.0%以上
			実績	42.0%	36.6%	30.3%	34.1%
		新規透析患者数	目標	-	160人以下	160人以下	160人以下
			実績	160人	156人	155人	153人

*1：5年間健診を利用していない者の割合

*2：前年度健診受診者のうち、当年度も健診を受診した者の割合

*3：特定保健指導対象者のうち初回面接を受けた者の割合

*4：初回面接を受けた者のうち6ヵ月間の指導を終了した者の割合

2 事業評価詳細

(1) 「特定健康診査の受診率の向上」

事業：「健診未受診者への受診勧奨」および「継続受診の促進」

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価
健診未受診者への受診勧奨 ストラクチャー評価	1. 必要な職員の体制を確保できる	1. 【状況】平成 28 年度と同様の体制で実施。委託先選定基準の検討、委託先事業者との打合せ、発送物の内容確認、再発行の対応などを班の職員 5 名（事務職 3 名、保健師 2 名）で行った。 【評価】事業実施に必要な職員体制が確保できた。
	2. 必要な予算を確保できる	2. 【状況】22,930 千円を確保。内訳は以下のとおり。 （1）はがき勧奨 委託料 4,514 千円、通信運搬費（郵送料） 4,862 千円 （2）電話勧奨 委託料 13,563 千円 【評価】事業実施に必要な予算が確保できた。
	3. 適切な委託先に委託できる	3. 【状況】企画提案方式により委託先を選定した。参加者を募集したところ、10 社から参加申込があり、過去の実績から 5 社に絞り企画提案を受け、選考委員会で提案内容を検討した上で委託先を決定した。 決定した委託先からは次の提案があった。 ・過去の健診問診結果と生活習慣病のレセプトの有無で通知内容変え勧奨を行う。 ・より受診を促す必要がある長期健診未受診者等には 2 度勧奨を行う。 ・通知文は他自治体で効果的だった資材をもとに作成する。 ・携帯電話のショートメッセージサービス（以下、SMS）を使った勧奨を行う。 【評価】過去実績があり、独自性のある提案を行う事業者に委託できた。
	4. 関連機関との連携体制を構築することができる	4. 【状況】各種機関と以下のとおり連携した。 （1）千葉市医師会 千葉市医師会特定健診等精度管理委員会において受診率等の動向を説明するほか、健診の協力医療機関向け説明会において千葉市が実施する勧奨内容を説明した。また、通院中の方が通院日と同日に特定健康診査を受診できることを手引きに明記し、周知を図った。 （2）町内自治会 各区の町内自治会連絡協議会において特定健診の概要、受診率の動向等を説明し、その後、8 月に全ての町内自治会宛てに回覧用チラシ「特定健診を受けましょう」を送付した。 （3）庁内衛生部門 運動イベントにおいて特定健診啓発用ポケットティッシュを配布するほか、各区健康課でチラシを配布した。各区健康課での事業活用を目的とし、特定健診の各検査値を区別に集計した資料を提供した。また、地域健康づくり支援連絡会に参加し、関係機関に周知を図った。 （4）委託事業者 仕様書に事業目的やデータヘルスで重視する勧奨対象者等を明記し契約した。契約後に具体的な勧奨方法について協議した。通知内容については協議しながら決定した。また、他の勧奨業務についても助言を得た。

目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																																																													
<p>1. 事業目的（長期未受診者の減少、40-50 歳代の受診率向上）に応じた対象者の選定方法を設定する</p> <p>2. 事業目的に応じたアプローチ方法とする</p>	<p>1. 【状況】対象者の具体的な抽出基準等は表1、表2となる。</p> <p>1回目の送付（表1）では、120,880人（内、40-50歳代：32,898人）に対して大きく3パターンに分け（1）過去受診経験者、（2）レセなし受診未経験者、（3）レセあり受診未経験者に区分し勧奨を行った。</p> <p>2回目の送付（表2）では、60,353人（内、40-50歳代：26,203人）に対して、大きく4パターンに分け（1）不定期受診者SMS、（2）不定期受診者ハガキ通知、（3）40-50歳代受診未経験者通常通知、（4）40-50歳代受診未経験者LINE活用に区分し勧奨を行った。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1回目の送付（平成29年9月5日～10月17日）</p> <p>送付後の問い合わせ対応のため（1）～（3）をランダムに4回に分散させ送付した。</p> <p style="text-align: center;">表1 1回目の送付のパターン、対象者、抽出条件、勧奨内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>パターン</th> <th>対象者数（人）</th> <th>対象者の内 40-50歳代 （人（割合））</th> <th>抽出条件</th> <th>勧奨内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（1） 過去受診経験者</td> <td>59,208</td> <td>11,714 (19.8)</td> <td>過去5年間のいずれかに受診結果があるが不定期に特定健診受診等をしている</td> <td>過去の問診結果からの勧奨メッセージ4パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 96パターン</td> </tr> <tr> <td>（2） レセなし受診未経験者</td> <td>26,233</td> <td>13,102 (49.9)</td> <td>生活習慣病のレセプトなく、過去3年間特定健診の受診歴がない</td> <td>勧奨メッセージ1パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 24パターン</td> </tr> <tr> <td>（3） レセあり受診未経験者</td> <td>35,439</td> <td>8,082 (22.8)</td> <td>生活習慣病のレセプトあるが、過去3年間特定健診の受診歴がない</td> <td>勧奨メッセージ1パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 24パターン</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>120,880</td> <td>32,991</td> <td>-</td> <td>144パターン</td> </tr> </tbody> </table> <p>※いずれも抽出条件に当てはまり勧奨時点で平成29年度特定健康診査受診が確認できていない方</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2回目の送付（1月15日～1月23日）</p> <p>送付後の問い合わせ対応のため（1）～（4）に分割し、5日間に分け送付した。</p> <p style="text-align: center;">表2 2回目の送付のパターン、対象者、抽出条件、勧奨内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>パターン</th> <th>対象者数（人）</th> <th>対象者の内 40-50歳代 （人（割合））</th> <th>抽出条件</th> <th>勧奨方法</th> <th>勧奨内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（1）不定期受診者 SMS</td> <td>3,896</td> <td>1,901 (48.8)</td> <td>表1の（1）の内、前年度特定健康診査を受診し、問診票に携帯電話番号を記載した者</td> <td>SMS</td> <td>勧奨メッセージ及び詳しい案内が掲載されたホームページへの誘導</td> </tr> <tr> <td>（2）不定期受診者 ハガキ通知</td> <td>38,848</td> <td>6,693 (17.2)</td> <td>表1の（1）の内、携帯電話番号を把握しておらず、不定期受診者</td> <td>ハガキ通知</td> <td>勧奨メッセージ1パターン × 各区健診機関6パターン</td> </tr> <tr> <td>（3）40-50歳代 受診未経験者通常通知</td> <td>8,825</td> <td>8,825 (100.0)</td> <td>表1の（2）（3）の内、過去3年間特定健康診査未受診の40-50歳代の者</td> <td>ハガキ通知</td> <td>シンプルな勧奨メッセージ1パターン</td> </tr> <tr> <td>（4）40-50歳代 受診未経験者LINE活用</td> <td>8,784</td> <td>8,784 (100.0)</td> <td>表1の（2）（3）の内、過去3年間特定健康診査未受診の40-50歳代の者</td> <td>ハガキ通知</td> <td>受診勧奨をハガキで通知し、LINEでの健診医療機関検索に誘導1パターン</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60,353</td> <td>26,369</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>9パターン</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（3）（4）はランダムに割り付け。</p> <p>※ いずれも抽出条件に当てはまり勧奨時点で平成29年度特定健康診査受診が確認できていない方</p> <p>【反応および対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去複数年対象となっている方からこんな健診があることを初めて知った。 ・健診についてすっかり忘れており、案内をみて思い出すことができた。 ・こんなに通知を頂いても末期がんのため健診は受けられないのでこのような通知は希望しない。⇒今後勧奨をしない対象者としてリストを作成した。 ・ここ数年毎年受けているので通知がなくとも受ける予定だった。⇒過去5年間連続受診履歴がある者については2回目の通知者からは除外した。 ・他の健診（職場健診や自費の人間ドック）を受診しているので特定健診は受けない。⇒健診結果の提供を依頼し、一部の人から健診結果を得ることができた。 	パターン	対象者数（人）	対象者の内 40-50歳代 （人（割合））	抽出条件	勧奨内容	（1） 過去受診経験者	59,208	11,714 (19.8)	過去5年間のいずれかに受診結果があるが不定期に特定健診受診等をしている	過去の問診結果からの勧奨メッセージ4パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 96パターン	（2） レセなし受診未経験者	26,233	13,102 (49.9)	生活習慣病のレセプトなく、過去3年間特定健診の受診歴がない	勧奨メッセージ1パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 24パターン	（3） レセあり受診未経験者	35,439	8,082 (22.8)	生活習慣病のレセプトあるが、過去3年間特定健診の受診歴がない	勧奨メッセージ1パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 24パターン	計	120,880	32,991	-	144パターン	パターン	対象者数（人）	対象者の内 40-50歳代 （人（割合））	抽出条件	勧奨方法	勧奨内容	（1）不定期受診者 SMS	3,896	1,901 (48.8)	表1の（1）の内、前年度特定健康診査を受診し、問診票に携帯電話番号を記載した者	SMS	勧奨メッセージ及び詳しい案内が掲載されたホームページへの誘導	（2）不定期受診者 ハガキ通知	38,848	6,693 (17.2)	表1の（1）の内、携帯電話番号を把握しておらず、不定期受診者	ハガキ通知	勧奨メッセージ1パターン × 各区健診機関6パターン	（3）40-50歳代 受診未経験者通常通知	8,825	8,825 (100.0)	表1の（2）（3）の内、過去3年間特定健康診査未受診の40-50歳代の者	ハガキ通知	シンプルな勧奨メッセージ1パターン	（4）40-50歳代 受診未経験者LINE活用	8,784	8,784 (100.0)	表1の（2）（3）の内、過去3年間特定健康診査未受診の40-50歳代の者	ハガキ通知	受診勧奨をハガキで通知し、LINEでの健診医療機関検索に誘導1パターン	計	60,353	26,369	-	-	9パターン
パターン	対象者数（人）	対象者の内 40-50歳代 （人（割合））	抽出条件	勧奨内容																																																										
（1） 過去受診経験者	59,208	11,714 (19.8)	過去5年間のいずれかに受診結果があるが不定期に特定健診受診等をしている	過去の問診結果からの勧奨メッセージ4パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 96パターン																																																										
（2） レセなし受診未経験者	26,233	13,102 (49.9)	生活習慣病のレセプトなく、過去3年間特定健診の受診歴がない	勧奨メッセージ1パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 24パターン																																																										
（3） レセあり受診未経験者	35,439	8,082 (22.8)	生活習慣病のレセプトあるが、過去3年間特定健診の受診歴がない	勧奨メッセージ1パターン × 年代別メッセージ4パターン × 各区健診機関6パターン = 24パターン																																																										
計	120,880	32,991	-	144パターン																																																										
パターン	対象者数（人）	対象者の内 40-50歳代 （人（割合））	抽出条件	勧奨方法	勧奨内容																																																									
（1）不定期受診者 SMS	3,896	1,901 (48.8)	表1の（1）の内、前年度特定健康診査を受診し、問診票に携帯電話番号を記載した者	SMS	勧奨メッセージ及び詳しい案内が掲載されたホームページへの誘導																																																									
（2）不定期受診者 ハガキ通知	38,848	6,693 (17.2)	表1の（1）の内、携帯電話番号を把握しておらず、不定期受診者	ハガキ通知	勧奨メッセージ1パターン × 各区健診機関6パターン																																																									
（3）40-50歳代 受診未経験者通常通知	8,825	8,825 (100.0)	表1の（2）（3）の内、過去3年間特定健康診査未受診の40-50歳代の者	ハガキ通知	シンプルな勧奨メッセージ1パターン																																																									
（4）40-50歳代 受診未経験者LINE活用	8,784	8,784 (100.0)	表1の（2）（3）の内、過去3年間特定健康診査未受診の40-50歳代の者	ハガキ通知	受診勧奨をハガキで通知し、LINEでの健診医療機関検索に誘導1パターン																																																									
計	60,353	26,369	-	-	9パターン																																																									

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																																																							
プロセス評価		<p>【評価】データヘルス計画に定める事業目的である「長期未受診者割合の減少」に対しては、1回目送付では（2）レセなし受診未経験者、（3）レセあり受診未経験者に分け送付し、2回目送付では（3）40-50歳代受診未経験者通常通知、（4）40-50歳代受診未経験者LINE活用に分けて送付するなど、有効な対象者選定が行うことができた。同様に事業目的である「40～59歳受診率の向上」に対しては、1回目送付では32,898人、2回目送付では26,203人に送付しており有効な対象者選定を行うことができた。</p> <p>アプローチ方法では、過去の間診、年代、各区などきめ細かな分類や携帯電話番号を把握している場合には、SMSの活用など、効率的な勧奨を行うことができた。また、通知が不必要な者を次回から除外するなど問い合わせを活かした対応ができた。</p>																																																							
健診未受診者への受診勧奨 アウトプット評価	1. 勧奨ごとの受診率	<p>1. 【状況】表1、表2から抽出条件が大きく異なっているため、送付後受診率の差が大きく、最も高い50.0%から最も低い2.3%となっている（表3、表4）</p> <p>類似している「レセなし受診未経験者」と「レセあり受診未経験者」では、「レセプトあり受診未経験者」の方が、送付後受診率が約1ポイント高い（表3）。</p> <p>また、対象者が同様で送り分けをした「40-50歳代受診未経験者通常通知」「40-50歳代受診未経験者LINE活用」では、「40-50歳代受診未経験者通常通知」のほうが、送付後受診率が約2ポイント高い（表4）。</p> <p>昨年度受診歴があるSMSの対象者は、送付後受診率が25.1%と高いが、56.2%が未受診となっている。</p> <p style="text-align: center;">表3 1回目送付前後の受診</p> <p style="text-align: right;">単位：人（行%）</p> <table border="1" data-bbox="821 1285 1923 1433"> <thead> <tr> <th></th> <th>送付後受診</th> <th>送付前受診</th> <th>未受診</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過去受診経験者</td> <td>29,609 (50.0)</td> <td>9,007 (15.2)</td> <td>20,592 (34.8)</td> <td>59,208</td> </tr> <tr> <td>レセなし受診未経験者</td> <td>2,006 (7.6)</td> <td>337 (1.3)</td> <td>23,890 (91.1)</td> <td>26,233</td> </tr> <tr> <td>レセあり受診未経験者</td> <td>3,001 (8.5)</td> <td>675 (1.9)</td> <td>31,763 (89.6)</td> <td>35,439</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34,616 (28.6)</td> <td>10,019 (8.3)</td> <td>76,245 (63.1)</td> <td>120,880</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4 2回目送付前後の受診</p> <p style="text-align: right;">単位：人（行%）</p> <table border="1" data-bbox="821 1522 1923 1819"> <thead> <tr> <th></th> <th>送付後受診</th> <th>送付前受診</th> <th>未受診</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不定期受診者SMS</td> <td>979 (25.1)</td> <td>728 (18.7)</td> <td>2,189 (56.2)</td> <td>3,896</td> </tr> <tr> <td>不定期受診者ハガキ通知</td> <td>8,662 (22.3)</td> <td>4,722 (12.2)</td> <td>25,464 (65.5)</td> <td>38,848</td> </tr> <tr> <td>40-50歳代受診未経験者通常通知</td> <td>365 (4.1)</td> <td>119 (1.3)</td> <td>8,341 (94.5)</td> <td>8,825</td> </tr> <tr> <td>40-50歳代受診未経験者LINE活用</td> <td>200 (2.3)</td> <td>95 (1.1)</td> <td>8,489 (96.6)</td> <td>8,784</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,206 (16.9)</td> <td>5,664 (9.4)</td> <td>44,483 (73.7)</td> <td>60,353</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価】どの群でも送付後受診率が一定数あり、勧奨が効果的だったと考える。</p> <p>その中で、未経験者の今年度未受診が9割程度となっており、受診率をあげるのは難しい群である。前年度受診経験があるSMSでの勧奨者の半数以上が未受診となっており、過去の受診歴があっても積極的に受診勧奨をする必要があると考える。</p>		送付後受診	送付前受診	未受診	計	過去受診経験者	29,609 (50.0)	9,007 (15.2)	20,592 (34.8)	59,208	レセなし受診未経験者	2,006 (7.6)	337 (1.3)	23,890 (91.1)	26,233	レセあり受診未経験者	3,001 (8.5)	675 (1.9)	31,763 (89.6)	35,439	計	34,616 (28.6)	10,019 (8.3)	76,245 (63.1)	120,880		送付後受診	送付前受診	未受診	計	不定期受診者SMS	979 (25.1)	728 (18.7)	2,189 (56.2)	3,896	不定期受診者ハガキ通知	8,662 (22.3)	4,722 (12.2)	25,464 (65.5)	38,848	40-50歳代受診未経験者通常通知	365 (4.1)	119 (1.3)	8,341 (94.5)	8,825	40-50歳代受診未経験者LINE活用	200 (2.3)	95 (1.1)	8,489 (96.6)	8,784	計	10,206 (16.9)	5,664 (9.4)	44,483 (73.7)	60,353
	送付後受診	送付前受診	未受診	計																																																					
過去受診経験者	29,609 (50.0)	9,007 (15.2)	20,592 (34.8)	59,208																																																					
レセなし受診未経験者	2,006 (7.6)	337 (1.3)	23,890 (91.1)	26,233																																																					
レセあり受診未経験者	3,001 (8.5)	675 (1.9)	31,763 (89.6)	35,439																																																					
計	34,616 (28.6)	10,019 (8.3)	76,245 (63.1)	120,880																																																					
	送付後受診	送付前受診	未受診	計																																																					
不定期受診者SMS	979 (25.1)	728 (18.7)	2,189 (56.2)	3,896																																																					
不定期受診者ハガキ通知	8,662 (22.3)	4,722 (12.2)	25,464 (65.5)	38,848																																																					
40-50歳代受診未経験者通常通知	365 (4.1)	119 (1.3)	8,341 (94.5)	8,825																																																					
40-50歳代受診未経験者LINE活用	200 (2.3)	95 (1.1)	8,489 (96.6)	8,784																																																					
計	10,206 (16.9)	5,664 (9.4)	44,483 (73.7)	60,353																																																					

目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																																																									
<p>1. 長期未受診者割合 (5年間受診券発行対象であった者のうち、1回も受診しなかった者の割合)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H27年度実績</th> <th>H28年度実績</th> <th>H29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47.5%</td> <td>46.6%</td> <td>45.0%以下</td> </tr> </tbody> </table>	H27年度実績	H28年度実績	H29年度目標	47.5%	46.6%	45.0%以下	<p>1. 【状況】 H29年度実績 45.7% 目標は未達成だが、平成28年度から0.9ポイント減少し、改善した。64歳までは、受診経験者よりも長期未受診者割合の方が高い。</p> <p style="text-align: center;">表 5 年代別の長期未受診者数と割合</p> <p style="text-align: right;">単位：人（%）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H25-29受診回数</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>長期未受診者（0回）</th> <th>受診経験者（1-5回）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40-44歳</td> <td>1,287 (1.2)</td> <td>713 (0.7)</td> <td>2,000 (1.8)</td> </tr> <tr> <td>45-49歳</td> <td>6,715 (6.2)</td> <td>3,648 (3.4)</td> <td>10,363 (9.5)</td> </tr> <tr> <td>50-54歳</td> <td>5,438 (5.0)</td> <td>3,183 (2.9)</td> <td>8,621 (7.9)</td> </tr> <tr> <td>55-59歳</td> <td>4,568 (4.2)</td> <td>3,065 (2.8)</td> <td>7,633 (7.0)</td> </tr> <tr> <td>60-64歳</td> <td>5,131 (4.7)</td> <td>4,937 (4.5)</td> <td>10,068 (9.3)</td> </tr> <tr> <td>65-69歳</td> <td>11,395 (10.5)</td> <td>16,513 (15.2)</td> <td>27,908 (25.6)</td> </tr> <tr> <td>70-74歳</td> <td>15,153 (13.9)</td> <td>27,070 (24.9)</td> <td>42,223 (38.8)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>49,687 (45.7)</td> <td>59,129 (54.3)</td> <td>108,816 (100.0)</td> </tr> <tr> <td>(再掲) 65歳未満</td> <td>23,139 (21.3)</td> <td>15,546 (14.3)</td> <td>38,685 (35.6)</td> </tr> <tr> <td>(再掲) 65歳以上</td> <td>26,548 (24.4)</td> <td>43,583 (40.1)</td> <td>70,131 (64.4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※5年間受診券発券者が評価対象のため40-44歳は44歳のみである。</p> <p>【評価】目標は未達成だが、取り組みにより平成28年度から0.9ポイント減少し、改善はみられており、今後もこの取り組みをすすめる。特に、64歳までは長期未受診者の割合が高くこれらの層の受診を促したい。これらの層は、表3、表4での送付後受診が1割にも満たない層であり、地道に様々な方法で受診勧奨する必要がある。様々な勧奨方法を実施するに当たり、民間事業者のノウハウの活用は重要であり、次年度も企画提案方式で事業者を決める。また、長期未受診者は未受診理由としてプロセス反応にあるように「他健診受診」などがありそれぞれに今後対策を考える検討する必要がある。</p>		H25-29受診回数		計	長期未受診者（0回）	受診経験者（1-5回）	40-44歳	1,287 (1.2)	713 (0.7)	2,000 (1.8)	45-49歳	6,715 (6.2)	3,648 (3.4)	10,363 (9.5)	50-54歳	5,438 (5.0)	3,183 (2.9)	8,621 (7.9)	55-59歳	4,568 (4.2)	3,065 (2.8)	7,633 (7.0)	60-64歳	5,131 (4.7)	4,937 (4.5)	10,068 (9.3)	65-69歳	11,395 (10.5)	16,513 (15.2)	27,908 (25.6)	70-74歳	15,153 (13.9)	27,070 (24.9)	42,223 (38.8)	計	49,687 (45.7)	59,129 (54.3)	108,816 (100.0)	(再掲) 65歳未満	23,139 (21.3)	15,546 (14.3)	38,685 (35.6)	(再掲) 65歳以上	26,548 (24.4)	43,583 (40.1)	70,131 (64.4)					
H27年度実績	H28年度実績	H29年度目標																																																								
47.5%	46.6%	45.0%以下																																																								
	H25-29受診回数		計																																																							
	長期未受診者（0回）	受診経験者（1-5回）																																																								
40-44歳	1,287 (1.2)	713 (0.7)	2,000 (1.8)																																																							
45-49歳	6,715 (6.2)	3,648 (3.4)	10,363 (9.5)																																																							
50-54歳	5,438 (5.0)	3,183 (2.9)	8,621 (7.9)																																																							
55-59歳	4,568 (4.2)	3,065 (2.8)	7,633 (7.0)																																																							
60-64歳	5,131 (4.7)	4,937 (4.5)	10,068 (9.3)																																																							
65-69歳	11,395 (10.5)	16,513 (15.2)	27,908 (25.6)																																																							
70-74歳	15,153 (13.9)	27,070 (24.9)	42,223 (38.8)																																																							
計	49,687 (45.7)	59,129 (54.3)	108,816 (100.0)																																																							
(再掲) 65歳未満	23,139 (21.3)	15,546 (14.3)	38,685 (35.6)																																																							
(再掲) 65歳以上	26,548 (24.4)	43,583 (40.1)	70,131 (64.4)																																																							
<p>2. 40～59歳受診率</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H27年度実績</th> <th>H28年度実績</th> <th>H29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18.1%</td> <td>17.4%</td> <td>19.0%以上</td> </tr> </tbody> </table>	H27年度実績	H28年度実績	H29年度目標	18.1%	17.4%	19.0%以上	<p>2. 【状況】 H29年度実績 18.8% 目標は未達成。平成28年度から1.4ポイント増加し、改善した。男性は、15.7%に対して、女性は22.2%と6.5ポイント差がある。また、年代で比較すると男性の40-44歳が13.3%に対して、男性の55-59歳が19.3%と6ポイント差がある。同様に、女性の40-44歳が18.0%に対して、女性の55-59歳が29.5%と11.5ポイント差となっている。</p> <p style="text-align: center;">表 6 40歳から50歳の性別・年齢別の受診率</p> <p style="text-align: right;">単位：人（行%）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>受診者</th> <th>未受診者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">男性</td> <td></td> <td>4,520 (15.7)</td> <td>24,189 (84.3)</td> <td>28,709</td> </tr> <tr> <td>40-44歳</td> <td>1,010 (13.3)</td> <td>6,585 (86.7)</td> <td>7,595</td> </tr> <tr> <td>45-49歳</td> <td>1,290 (15.2)</td> <td>7,213 (84.8)</td> <td>8,503</td> </tr> <tr> <td>50-54歳</td> <td>1,122 (16.2)</td> <td>5,788 (83.8)</td> <td>6,910</td> </tr> <tr> <td>55-59歳</td> <td>1,098 (19.3)</td> <td>4,603 (80.7)</td> <td>5,701</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">女性</td> <td></td> <td>5,885 (22.2)</td> <td>20,662 (77.8)</td> <td>26,547</td> </tr> <tr> <td>40-44歳</td> <td>1,204 (18.0)</td> <td>5,477 (82.0)</td> <td>6,681</td> </tr> <tr> <td>45-49歳</td> <td>1,405 (18.8)</td> <td>6,080 (81.2)</td> <td>7,485</td> </tr> <tr> <td>50-54歳</td> <td>1,452 (23.5)</td> <td>4,739 (76.5)</td> <td>6,191</td> </tr> <tr> <td>55-59歳</td> <td>1,824 (29.5)</td> <td>4,366 (70.5)</td> <td>6,190</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,405 (18.8)</td> <td>44,851 (81.2)</td> <td>55,256</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価】目標は未達成だが、取り組みにより前年より増加しており評価できるが、より若い年代への勧奨や男性への勧奨が課題として残る。</p>			受診者	未受診者	計	男性		4,520 (15.7)	24,189 (84.3)	28,709	40-44歳	1,010 (13.3)	6,585 (86.7)	7,595	45-49歳	1,290 (15.2)	7,213 (84.8)	8,503	50-54歳	1,122 (16.2)	5,788 (83.8)	6,910	55-59歳	1,098 (19.3)	4,603 (80.7)	5,701	女性		5,885 (22.2)	20,662 (77.8)	26,547	40-44歳	1,204 (18.0)	5,477 (82.0)	6,681	45-49歳	1,405 (18.8)	6,080 (81.2)	7,485	50-54歳	1,452 (23.5)	4,739 (76.5)	6,191	55-59歳	1,824 (29.5)	4,366 (70.5)	6,190	計	10,405 (18.8)	44,851 (81.2)	55,256
H27年度実績	H28年度実績	H29年度目標																																																								
18.1%	17.4%	19.0%以上																																																								
		受診者	未受診者	計																																																						
男性		4,520 (15.7)	24,189 (84.3)	28,709																																																						
	40-44歳	1,010 (13.3)	6,585 (86.7)	7,595																																																						
	45-49歳	1,290 (15.2)	7,213 (84.8)	8,503																																																						
	50-54歳	1,122 (16.2)	5,788 (83.8)	6,910																																																						
	55-59歳	1,098 (19.3)	4,603 (80.7)	5,701																																																						
女性		5,885 (22.2)	20,662 (77.8)	26,547																																																						
	40-44歳	1,204 (18.0)	5,477 (82.0)	6,681																																																						
	45-49歳	1,405 (18.8)	6,080 (81.2)	7,485																																																						
	50-54歳	1,452 (23.5)	4,739 (76.5)	6,191																																																						
	55-59歳	1,824 (29.5)	4,366 (70.5)	6,190																																																						
計	10,405 (18.8)	44,851 (81.2)	55,256																																																							

目標値（評価項目・評価指標）		達成（未達成）状況の確認と評価															
ストラクチャー評価	<p>1. 必要な職員の体制を確保できる</p> <p>2. 必要な予算を確保できる</p> <p>3. 適切な委託先に委託できる</p>	<p>1. 【状況】平成 28 年度と同様の体制で実施。通知の内容、問合せ対応、受診券再発行は、班の職員 5 名（事務職 3 名、保健師 2 名）で行った。 【評価】事業実施に必要な職員体制が確保できた。</p> <p>2. 【状況】通知に必要な予算として、12,934 千円を確保。内訳は以下のとおり。 委託料 8,398 千円、通信運搬費（郵送料） 4,536 千円 【評価】事業実施に必要な予算が確保できた。</p> <p>3. 【状況】入札により委託先を選定した。委託内容は、平成 24～28 年度の健診結果の一覧を含むお知らせの印刷、宛名印字。 【評価】事業実施に必要な委託先は選定できたが、通知内容（お知らせの内容、何を伝えれば受診してもらえるか）の決定に苦慮した。</p>															
	<p>1. 事業目的に応じた対象者の選定方法を設定する</p> <p>2. 事業目的に応じたアプローチ方法とする</p>	<p>1. 【状況】対象者は、平成 24～28 年度に特定健診を受診し、平成 29 年度に特定健診の対象である者 【評価】事業目的「経年の健診結果を送付することにより継続受診の必要性を伝え、受診勧奨を図る」に合致している。</p> <p>2. 【状況】A3 サイズ両面を 2 つ折りとし、A4 サイズ 4 面に以下の内容を記載。 第 1 面 タイトル「毎年健診を受けましょう これまでの健診結果」 5 年間の健診受診回数ごとの医療費の関係 第 2～3 面 過去 5 年間の健診結果、結果の見方 健診結果の活用方法 第 4 面 受診方法 <u>工夫した点</u> <ul style="list-style-type: none"> 毎年欠かさず受診している人の医療費が低いことを強調 受診方法はシンプルに記載し、受診券の入っている封筒の画像を記載。 すぐに予約ができるよう、過去受診の医療機関の名称及び電話番号を記載 <u>送付後の反応と対応</u> <ul style="list-style-type: none"> ご自身で過去の健診結果を保管している方からは、「こういったお知らせは無駄」「何のために送ってくるのか」とのご意見あった。⇒事業目的を伝えるとともに、そのような意見の方には次年度は通知しないこととした。 もう既に受診した。このような通知は不要ではないか。 再発行数：送付前 4.3 件/日→送付後 13.1 件/日（開庁日 7 日間の平均値） <p>【評価】お知らせ送付により受診券再発行の依頼数が増加しており、受診を促す効果はある。</p> </p>															
アウトプット評価	<p>1. 勧奨対象者の受診率</p>	<p>【状況】平成 29 年 8 月下旬に 71,047 人（年度中に 75 歳を迎え後期高齢者医療制度に加入する 4,336 人を除く）を対象に、過去 5 年間（平成 24～28 年度）の健診結果のお知らせを送付した。送付後に受診した者の割合は 53.3%であり、平成 28 年度から 6.3 ポイント増加した（表 7）。</p> <p style="text-align: center;">表 7 平成 28-29 年度の 5 年間結果通知前後の受診の有無 単位：人（行%）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>送付後受診</th> <th>送付前受診</th> <th>未受診</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>37,891 (53.3)</td> <td>11,852 (16.7)</td> <td>21,304 (30.0)</td> <td>71,047 (100.0)</td> </tr> <tr> <td>【参考】平成28年度</td> <td>37,308 (47.1)</td> <td>12,647 (15.9)</td> <td>29,377 (37.0)</td> <td>79,292 (100.0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価】本通知送付後受診率は、平成 28 年度比で送付後受診が増えており評価できる本事業の効果もあると考えるが、他の勧奨業務の強化も一因として考えられる。</p>		送付後受診	送付前受診	未受診	計	平成29年度	37,891 (53.3)	11,852 (16.7)	21,304 (30.0)	71,047 (100.0)	【参考】平成28年度	37,308 (47.1)	12,647 (15.9)	29,377 (37.0)	79,292 (100.0)
	送付後受診	送付前受診	未受診	計													
平成29年度	37,891 (53.3)	11,852 (16.7)	21,304 (30.0)	71,047 (100.0)													
【参考】平成28年度	37,308 (47.1)	12,647 (15.9)	29,377 (37.0)	79,292 (100.0)													

目標値（評価項目・評価指標）		達成（未達成）状況の確認と評価															
継続受診の促進 アウトカム評価	1. 継続受診率 （平成 28 年度受診者のうち、平成 29 年度も受診した者の割合）	1. 【状況】 H29 年度実績 69.1% 平成 28 年度受診者 60,123 人中 41,552 人が翌年度受診した。継続受診とならなかった 13.7%は、そもそも受けることができない平成 29 年度特定健診対象外の方となっている人を含んでいる。 表 8 評価対象者の受診パターン 単位：人（%） <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>参考：新基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇</td> <td>41,552 (69.1)</td> <td>(80.0)</td> </tr> <tr> <td>〇×</td> <td>10,361 (17.2)</td> <td>(20.0)</td> </tr> <tr> <td>〇-</td> <td>8,210 (13.7)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60,123</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※〇〇：平成 28-29 年度の 2 年連続受診した方 〇×：平成 28 年度受診したが、平成 29 年度受診しなかった方 〇-：平成 28 年度受診したが、平成 29 年度特定健診対象外の方</p> <p>【評価】昨年度よりは継続受診率が増加したが、目標値には達成しなかった。その要因としては、特定健診対象外となっている人も評価対象になっていることが大きい。特に、平成 28 年 10 月から他医療保険へ加入する要件が緩和され、千葉県国民健康保険加入者の減少が影響していると考えられる。このことから、第 2 期データヘルス計画では翌年度特定健診対象外の方は評価対象から除いた目標値を定めた。参考で示した新基準でみると 80.0%の方が継続受診をしており、今後も継続受診率が維持、向上されるように取り組む必要がある。</p>		人数	参考：新基準	〇〇	41,552 (69.1)	(80.0)	〇×	10,361 (17.2)	(20.0)	〇-	8,210 (13.7)	-	計	60,123	-
			人数	参考：新基準													
〇〇	41,552 (69.1)	(80.0)															
〇×	10,361 (17.2)	(20.0)															
〇-	8,210 (13.7)	-															
計	60,123	-															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H27 年度実績</th> <th>H28 年度実績</th> <th>H29 年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">71.2%</td> <td style="text-align: center;">67.7%</td> <td style="text-align: center;">74.0%以上</td> </tr> </tbody> </table>	H27 年度実績	H28 年度実績	H29 年度目標	71.2%	67.7%	74.0%以上											
H27 年度実績	H28 年度実績	H29 年度目標															
71.2%	67.7%	74.0%以上															
総合評価	<健診未受診者への受診勧奨> アウトカム指標は、両者とも未達成だが昨年度より実績は改善している。これらの要因としては行政だけで勧奨内容を考えるのではなく、企画提案方式で事業者を選定し、より民間企業のノウハウを活用できるようにしたことが大きい。それにより、行政だけではできない過去の健診結果等から 100 パターン以上の通知の作成や SMS を活用した勧奨を行うことができた。このため、次年度も企画提案方式で事業者を選定し、次期データヘルス計画の指標を少しでも改善できるようにする。 長期末受診者の割合が、65 歳未満では受診経験者より高く、65 歳未満に対してより受診を促す必要があると考える。次年度の計画からは指標を見直し 60 歳未満から 65 歳未満の受診率とする。若い層の受診を促すためには SMS 等の ICT を活用した受診勧奨を行う必要があり事業者を選定する際にはその視点を盛り込むことを検討する。																
	<継続受診の促進> 通知送付後に受診券再発行依頼数が増加していることから、一定の受診を促す効果はある。 目標値は達成されないが、前年度よりは改善傾向となる。しかし、評価対象の 13.7%が継続受診が難しい対象であり、第 2 期データヘルス計画では評価指標を見直した。																

(2)「特定保健指導の実施率の向上」

事業：「特定保健指導利用勧奨（未利用勧奨および継続利用勧奨）」および「特定保健指導（積極的支援）実施機関の拡大」

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価									
特定保健指導利用勧奨（未利用者勧奨及び継続利用勧奨） ストラクチャー評価	1. 必要な職員の体制を確保できる	1. 【状況】 主担当は事務職 1 名。電話の対応フロー等、委託の仕様は班の職員 5 名（事務職 3 名、保健師 2 名）で検討を行った。 【評価】 事業実施に必要な職員体制が確保できた。									
	2. 必要な予算を確保できる	2. 【状況】 委託料 2,355 千円を確保。 【評価】 事業実施に必要な予算が確保できた。									
	3. 適切な委託先に委託できる	3. 【状況】 平成 28 年度に引き続き勧奨の効果を高めるため、特定健診結果から対象者の抽出・架電を短期間に実施できることが委託先の要件として必要だと考えた。この要件を踏まえ、特定健診等を実施する千葉県医師会が健診結果データ化を委託している事業者と随意契約を行った。 委託している事業者で健診結果を電子化した平成 29 年 3 月～平成 30 年 2 月までに国保連合会提出分の特定健診の結果、総合判定で健診実施医療機関での特定保健指導の対象となった方を対象に電話勧奨を行った。 表 9 健診から利用勧奨までの日数 単位：人（%） <table border="1" data-bbox="1163 1083 1570 1190"> <tr> <td>-69日</td> <td>1,992</td> <td>(53.2)</td> </tr> <tr> <td>70日-89日</td> <td>1,198</td> <td>(32.0)</td> </tr> <tr> <td>90日-</td> <td>555</td> <td>(14.8)</td> </tr> </table> 【評価】 特定健診等の制度を理解しており、最も短期間で対象者抽出ができる委託先を選定できた。	-69日	1,992	(53.2)	70日-89日	1,198	(32.0)	90日-	555	(14.8)
	-69日	1,992	(53.2)								
70日-89日	1,198	(32.0)									
90日-	555	(14.8)									
4. 関連機関との連携体制を構築することができる	4. 【状況】 千葉県医師会及び協力医療機関と以下の方法で連携している。 <ul style="list-style-type: none"> 千葉県医師会の特定健診精度管理委員会において、平成 27 年度に事前協議したほか、平成 28-29 年度に勧奨の実施状況を報告した。 毎年 4 月に実施している医療機関向け説明会において、特定保健指導の電話勧奨を実施すること、また、その結果、過去の特定健診受診者から利用希望者が出る可能性があることを周知した。特に健診機関との大きな問題は生じなかった。 【評価】 連携体制を構築することが出来た。										

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価															
特定保健指導利用勸奨（未利用者勸奨及び継続利用勸奨） プロセス評価	1. 対象者が不在の場合、時間帯等をずらしアプローチすることができる	1. 【状況】平日日中が不在の場合には、平日夜間、土日と時間帯をかえることにより、対象者の2,071人（55.3%）と直接話すことができた（表10）。委託により土日や平日夜間に直接話すことができた（表10）。一方で、1,674人には留守番電話にメッセージを残す程度の勸奨となった。 表10 本人等への直接の勸奨の可否と日時 単位：人（%） <table border="1" data-bbox="1066 528 1669 706"> <tr> <td>本人等と話せた方</td> <td>2,071</td> <td>(55.3)</td> </tr> <tr> <td> 内、平日日中</td> <td>1,043</td> <td>(27.9)</td> </tr> <tr> <td> 内、土日</td> <td>389</td> <td>(10.4)</td> </tr> <tr> <td> 内、平日夜間</td> <td>639</td> <td>(17.1)</td> </tr> <tr> <td>本人等と話せなかった方</td> <td>1,674</td> <td>(44.7)</td> </tr> </table> ※本人等と話せた方は、応答し本人もしくは家族に伝えられた者 本人等と話せなかった方は「留守番電話」「不在・不通」「拒否」の者 【評価】委託のメリットを生かして平日日中以外の時間帯にも勸奨することで多くの人に直接勸奨することができた。電話で話せなかった場合は、勸奨ができておらず次年度は通知を取り入れることを検討する。	本人等と話せた方	2,071	(55.3)	内、平日日中	1,043	(27.9)	内、土日	389	(10.4)	内、平日夜間	639	(17.1)	本人等と話せなかった方	1,674	(44.7)
	本人等と話せた方	2,071	(55.3)														
	内、平日日中	1,043	(27.9)														
内、土日	389	(10.4)															
内、平日夜間	639	(17.1)															
本人等と話せなかった方	1,674	(44.7)															
2. 電話勸奨の流れについて千葉市医師会との合意を図っている	2. 【状況】千葉市医師会成人担当理事、千葉市医師会特定健康診査・特定保健指導精度管理委員会に報告、相談しながら実施体制を決めた。 前年度途中から積極的支援対象者は、医療機関での特定保健指導対象としていたが、対象者の状況に応じて民間事業者の特定保健指導を紹介することの同意を得た。 【評価】必要に応じて千葉市医師会と合意をとりながら実施した。																
3. 協力医療機関に周知ができている	3. 【状況】千葉市医師会への特定健康診査等の業務の説明会にて説明するとともに、平成29年度特定健康診査等業務の手引きに明記した。 また、委託事業者が電話したことにより特定保健指導利用意思を示した場合は委託事業者から各医療機関にFAXの送付をするようにした。 【評価】協力医療機関に必要な周知を行った。																

特定保健指導利用勧奨（未利用者勧奨及び継続利用勧奨） プロセス評価	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																																																																																								
	4. 市民等の意見を聴取し、利用勧奨の改善等に活用している	<p>4. 【状況】 本事業に関して市民から直接市役所に「委託事業者から電話があったが内容が分からなかった」や「質問をいくつか聞いたが答えられなかった」等の意見があった場合には委託事業者に連絡をした。それにより、委託事業者において事業フロー見直しや実際に利用勧奨しているオペレーターへの周知を実施していた。</p> <p>利用しない理由は、「通院している（18.8%）」「時間がない、忙しい（18.2%）」「自分で健康管理（17.8%）」「元気である（16.2%）」となっている（表 11）。</p> <p>利用理由は「医師から勧められた（38.8%）」「生活習慣病の危険性を改善したい（32.1%）」となっており、本勧奨から利用しようと考えたのは 3.0%となっている（表 12）。</p> <p style="text-align: center;">表 11 特定保健指導の利用しない理由</p> <p style="text-align: right;">単位：人（列%）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>積極的</th> <th>動機付け</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通院している</td> <td>24 (17.4)</td> <td>116 (19.2)</td> <td>140 (18.8)</td> </tr> <tr> <td>時間がない、忙しい</td> <td>50 (36.2)</td> <td>85 (14.0)</td> <td>135 (18.2)</td> </tr> <tr> <td>自分で健康管理</td> <td>19 (13.8)</td> <td>113 (18.7)</td> <td>132 (17.8)</td> </tr> <tr> <td>元気である</td> <td>9 (6.5)</td> <td>111 (18.3)</td> <td>120 (16.2)</td> </tr> <tr> <td>医療機関で必要ないと言われた</td> <td>11 (8.0)</td> <td>65 (10.7)</td> <td>76 (10.2)</td> </tr> <tr> <td>利用経験あり、同じ内容なら受けない</td> <td>3 (2.2)</td> <td>26 (4.3)</td> <td>29 (3.9)</td> </tr> <tr> <td>面倒くさい</td> <td>2 (1.4)</td> <td>14 (2.3)</td> <td>16 (2.2)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>20 (14.5)</td> <td>75 (12.4)</td> <td>95 (12.8)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>138</td> <td>605</td> <td>743</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 12 特定保健指導の利用理由</p> <p style="text-align: right;">単位：人（列%）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>積極的支援</th> <th>動機付け支援</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師から勧められた</td> <td>7 (36.8)</td> <td>97 (39.0)</td> <td>104 (38.8)</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病の危険性を改善したい</td> <td>7 (36.8)</td> <td>79 (31.7)</td> <td>86 (32.1)</td> </tr> <tr> <td>この機会に体重や腹囲を減らしたい</td> <td>4 (21.1)</td> <td>28 (11.2)</td> <td>32 (11.9)</td> </tr> <tr> <td>健診結果説明時に面接があった</td> <td>0 (0.0)</td> <td>11 (4.4)</td> <td>11 (4.1)</td> </tr> <tr> <td>以前保健指導を受けて良かった</td> <td>0 (0.0)</td> <td>11 (4.4)</td> <td>11 (4.1)</td> </tr> <tr> <td>今回の電話勧奨があったから</td> <td>0 (0.0)</td> <td>8 (3.2)</td> <td>8 (3.0)</td> </tr> <tr> <td>病院から案内通知が届いた</td> <td>1 (5.3)</td> <td>6 (2.4)</td> <td>7 (2.6)</td> </tr> <tr> <td>友人や家族に勧められた</td> <td>0 (0.0)</td> <td>3 (1.2)</td> <td>3 (1.1)</td> </tr> <tr> <td>無料だから</td> <td>0 (0.0)</td> <td>2 (0.8)</td> <td>2 (0.7)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0 (0.0)</td> <td>4 (1.6)</td> <td>4 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19</td> <td>249</td> <td>268</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価】 市民の意見を聴取し、利用勧奨の改善に活用した。 また、上記の利用しない理由や利用理由を参考にし、次年度以降の事業に活用する。</p>		積極的	動機付け	計	通院している	24 (17.4)	116 (19.2)	140 (18.8)	時間がない、忙しい	50 (36.2)	85 (14.0)	135 (18.2)	自分で健康管理	19 (13.8)	113 (18.7)	132 (17.8)	元気である	9 (6.5)	111 (18.3)	120 (16.2)	医療機関で必要ないと言われた	11 (8.0)	65 (10.7)	76 (10.2)	利用経験あり、同じ内容なら受けない	3 (2.2)	26 (4.3)	29 (3.9)	面倒くさい	2 (1.4)	14 (2.3)	16 (2.2)	その他	20 (14.5)	75 (12.4)	95 (12.8)	計	138	605	743		積極的支援	動機付け支援	計	医師から勧められた	7 (36.8)	97 (39.0)	104 (38.8)	生活習慣病の危険性を改善したい	7 (36.8)	79 (31.7)	86 (32.1)	この機会に体重や腹囲を減らしたい	4 (21.1)	28 (11.2)	32 (11.9)	健診結果説明時に面接があった	0 (0.0)	11 (4.4)	11 (4.1)	以前保健指導を受けて良かった	0 (0.0)	11 (4.4)	11 (4.1)	今回の電話勧奨があったから	0 (0.0)	8 (3.2)	8 (3.0)	病院から案内通知が届いた	1 (5.3)	6 (2.4)	7 (2.6)	友人や家族に勧められた	0 (0.0)	3 (1.2)	3 (1.1)	無料だから	0 (0.0)	2 (0.8)	2 (0.7)	その他	0 (0.0)	4 (1.6)	4 (1.5)	計	19	249	268
	積極的	動機付け	計																																																																																							
通院している	24 (17.4)	116 (19.2)	140 (18.8)																																																																																							
時間がない、忙しい	50 (36.2)	85 (14.0)	135 (18.2)																																																																																							
自分で健康管理	19 (13.8)	113 (18.7)	132 (17.8)																																																																																							
元気である	9 (6.5)	111 (18.3)	120 (16.2)																																																																																							
医療機関で必要ないと言われた	11 (8.0)	65 (10.7)	76 (10.2)																																																																																							
利用経験あり、同じ内容なら受けない	3 (2.2)	26 (4.3)	29 (3.9)																																																																																							
面倒くさい	2 (1.4)	14 (2.3)	16 (2.2)																																																																																							
その他	20 (14.5)	75 (12.4)	95 (12.8)																																																																																							
計	138	605	743																																																																																							
	積極的支援	動機付け支援	計																																																																																							
医師から勧められた	7 (36.8)	97 (39.0)	104 (38.8)																																																																																							
生活習慣病の危険性を改善したい	7 (36.8)	79 (31.7)	86 (32.1)																																																																																							
この機会に体重や腹囲を減らしたい	4 (21.1)	28 (11.2)	32 (11.9)																																																																																							
健診結果説明時に面接があった	0 (0.0)	11 (4.4)	11 (4.1)																																																																																							
以前保健指導を受けて良かった	0 (0.0)	11 (4.4)	11 (4.1)																																																																																							
今回の電話勧奨があったから	0 (0.0)	8 (3.2)	8 (3.0)																																																																																							
病院から案内通知が届いた	1 (5.3)	6 (2.4)	7 (2.6)																																																																																							
友人や家族に勧められた	0 (0.0)	3 (1.2)	3 (1.1)																																																																																							
無料だから	0 (0.0)	2 (0.8)	2 (0.7)																																																																																							
その他	0 (0.0)	4 (1.6)	4 (1.5)																																																																																							
計	19	249	268																																																																																							

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																								
特定保健指導利用勧奨（未利用者勧奨及び継続利用勧奨） アウトプット評価	1. 対象者に特定保健指導について伝えることができている。	1. 【状況】3,348人（89.4%）の対象者に特定保健指導の対象であることを伝えること（応答、留守番電話）ができた（表13）。 表13 指導種別と応答状況 単位：人（列%） <table border="1" data-bbox="913 409 1822 617"> <thead> <tr> <th></th> <th>積極的支援</th> <th>動機付け支援</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応答</td> <td>292 (51.1)</td> <td>1,779 (56.0)</td> <td>2,071 (55.3)</td> </tr> <tr> <td>留守番電話</td> <td>225 (39.4)</td> <td>1,052 (33.1)</td> <td>1,277 (34.1)</td> </tr> <tr> <td>拒否</td> <td>32 (5.6)</td> <td>241 (7.6)</td> <td>273 (7.3)</td> </tr> <tr> <td>不通</td> <td>22 (3.9)</td> <td>102 (3.2)</td> <td>124 (3.3)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>571</td> <td>3,174</td> <td>3,745</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="779 635 1066 676">【反応】肯定的な意見</p> <ul data-bbox="877 682 1449 724" style="list-style-type: none"> ・特定保健指導を利用してみようと思った。 <p data-bbox="877 727 1066 768">否定的な意見</p> <ul data-bbox="877 774 1751 899" style="list-style-type: none"> ・特定保健指導を受ける必要性がよくわからなかった。 ・留守番電話の用件を聞いたが内容が理解できなかった。 ・なんで市役所からではなく、委託事業者から電話しているのだ。 <p data-bbox="779 949 2022 1074">【評価】委託することによって3,348人の対象者に特定保健指導の対象であることは伝えられている（表13）。しかし、反応や利用しない理由は様々であり（表11）、電話による勧奨だけでは十分に伝わらない部分もある。</p>		積極的支援	動機付け支援	計	応答	292 (51.1)	1,779 (56.0)	2,071 (55.3)	留守番電話	225 (39.4)	1,052 (33.1)	1,277 (34.1)	拒否	32 (5.6)	241 (7.6)	273 (7.3)	不通	22 (3.9)	102 (3.2)	124 (3.3)	計	571	3,174	3,745
		積極的支援	動機付け支援	計																						
応答	292 (51.1)	1,779 (56.0)	2,071 (55.3)																							
留守番電話	225 (39.4)	1,052 (33.1)	1,277 (34.1)																							
拒否	32 (5.6)	241 (7.6)	273 (7.3)																							
不通	22 (3.9)	102 (3.2)	124 (3.3)																							
計	571	3,174	3,745																							
2. 対象者のうち、勧奨結果が「利用する」「利用を検討する」等となった者の割合	2. 【状況】 応答者のうちの580人（28.0%）が利用する等と答えている（表14）。 表14 応答者のうちの電話勧奨時の反応 単位：人（%） <table border="1" data-bbox="1155 1299 1581 1472"> <tbody> <tr> <td>既に利用済み</td> <td>556 (26.8)</td> </tr> <tr> <td>利用する等</td> <td>580 (28.0)</td> </tr> <tr> <td>利用しない</td> <td>730 (35.2)</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>205 (9.9)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,071</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="894 1486 1850 1528">※利用する等：「利用する」「利用を検討する」「利用予定」と答えた方</p> <p data-bbox="785 1576 2022 1659">【評価】本事業により利用する等と答えた方が580人おり、これらの方に対して利用を促すことができた。</p>	既に利用済み	556 (26.8)	利用する等	580 (28.0)	利用しない	730 (35.2)	不明	205 (9.9)	計	2,071															
既に利用済み	556 (26.8)																									
利用する等	580 (28.0)																									
利用しない	730 (35.2)																									
不明	205 (9.9)																									
計	2,071																									

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																				
特定保健指導利用勸奨（未利用者勸奨及び継続利用勸奨） アウトカム評価	<p>1. 本事業により特定保健指導を利用開始する方が増える。 （未利用者勸奨評価）</p>	<p>1. 【状況】 特定保健指導について勸奨のできた 3,348 人の内、83 人(2.5%)が勸奨後に特定保健指導を利用している。保健指導の種別では、積極的支援が 39 人（7.5%）、動機付け支援が 44 人（1.6%）となっている（表 15）。</p> <p style="text-align: center;">表 15 勸奨前後の利用状況</p> <p style="text-align: right;">単位：人（%）</p> <table border="1" data-bbox="863 477 1877 617"> <thead> <tr> <th></th> <th>勸奨後利用</th> <th>勸奨前利用</th> <th>未利用</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積極的支援</td> <td>39 (7.5)</td> <td>106 (20.5)</td> <td>372 (72.0)</td> <td>517</td> </tr> <tr> <td>動機付け支援</td> <td>44 (1.6)</td> <td>601 (21.2)</td> <td>2,186 (77.2)</td> <td>2,831</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>83 (2.5)</td> <td>707 (21.1)</td> <td>2,558 (76.4)</td> <td>3,348</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価】 積極的支援では勸奨後利用が 7.5%となっているが、動機付け支援では 1.6%と積極的支援と比較すると 4 分の 1 となっている。</p>		勸奨後利用	勸奨前利用	未利用	計	積極的支援	39 (7.5)	106 (20.5)	372 (72.0)	517	動機付け支援	44 (1.6)	601 (21.2)	2,186 (77.2)	2,831	計	83 (2.5)	707 (21.1)	2,558 (76.4)	3,348
		勸奨後利用	勸奨前利用	未利用	計																	
積極的支援	39 (7.5)	106 (20.5)	372 (72.0)	517																		
動機付け支援	44 (1.6)	601 (21.2)	2,186 (77.2)	2,831																		
計	83 (2.5)	707 (21.1)	2,558 (76.4)	3,348																		
<p>2. 本事業により特定保健指導を終了する方が増える。 （継続利用勸奨評価）</p>	<p>2. 【状況】 勸奨前利用の 707 人ついて、終了および中断の状況の評価した。積極的支援は 39 人（36.8%）、動機付け支援は 503 人（83.7%）が終了している（表 16）。</p> <p style="text-align: center;">表 16 勸奨前利用の積極的支援・動機付け支援利用者の終了、中断状況</p> <p style="text-align: right;">単位：人（%）</p> <table border="1" data-bbox="984 970 1755 1110"> <thead> <tr> <th></th> <th>終了</th> <th>未終了</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積極的支援</td> <td>39 (36.8)</td> <td>67 (63.2)</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>動機付け支援</td> <td>503 (83.7)</td> <td>98 (16.3)</td> <td>601</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>542 (76.7)</td> <td>165 (23.3)</td> <td>707</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価】 積極的支援の終了率（表 16）を法定報告値（表 17）と比較すると、約 20 ポイント低い。動機付け支援の終了率（表 16）を法定報告値（表 17）と比較すると、1.6 ポイント低い。このため、継続利用勸奨により終了率は高めることはできていない。</p>		終了	未終了	計	積極的支援	39 (36.8)	67 (63.2)	106	動機付け支援	503 (83.7)	98 (16.3)	601	計	542 (76.7)	165 (23.3)	707					
	終了	未終了	計																			
積極的支援	39 (36.8)	67 (63.2)	106																			
動機付け支援	503 (83.7)	98 (16.3)	601																			
計	542 (76.7)	165 (23.3)	707																			

		目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																										
特定保健指導 利用勧奨（未利用者 勧奨及び継続利用 勧奨）	アウトカム評価	3. 法定報告にて積極的支援利用率が向上する。	3～6. 【状況】積極的支援利用率：目標を達成したが、前年度より0.6ポイント減少。動機付け支援利用率：目標を未達成だが、前年度より1.6ポイント改善。積極的支援終了率：目標を達成し、前年度より14.7ポイント改善。動機付け支援終了率：目標を未達成かつ前年度より2.3ポイント減少。積極的支援は、利用率・終了率ともに目標を達成できた。動機付け支援は、利用率・終了率のとも目標値は達成できなかった（表17）。動機付け支援の対象者が約600人増加しており、利用者、終了者とも増加している（表18）。 表17 平成29年度特定保健指導利用率、終了率 法定報告値 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3. 動機付け支援利用率</td> <td>18.8</td> </tr> <tr> <td>4. 積極的支援利用率</td> <td>15.8</td> </tr> <tr> <td>5. 動機付け支援終了率</td> <td>85.3</td> </tr> <tr> <td>6. 積極的支援終了率</td> <td>57.6</td> </tr> </tbody> </table> 表18 平成28～29年度動機付け支援対象者、利用者 法定告値 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>利用者</th> <th>終了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>4,836</td> <td>831</td> <td>728</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5,416</td> <td>1,019</td> <td>869</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td>(112.0)</td> <td>(122.6)</td> <td>(119.4)</td> </tr> </tbody> </table>		H29	3. 動機付け支援利用率	18.8	4. 積極的支援利用率	15.8	5. 動機付け支援終了率	85.3	6. 積極的支援終了率	57.6		対象者	利用者	終了者	H28	4,836	831	728	H29	5,416	1,019	869	前年比	(112.0)	(122.6)	(119.4)
				H29																									
		3. 動機付け支援利用率		18.8																									
		4. 積極的支援利用率		15.8																									
		5. 動機付け支援終了率		85.3																									
		6. 積極的支援終了率		57.6																									
	対象者	利用者	終了者																										
H28	4,836	831	728																										
H29	5,416	1,019	869																										
前年比	(112.0)	(122.6)	(119.4)																										
H27年度実績	H28年度実績	H29年度目標																											
7.7%	16.4%	15.0%以上																											
4. 法定報告にて動機付け支援利用率が向上する。																													
H27年度実績	H28年度実績	H29年度目標																											
12.4%	17.2%	19.0%以上																											
5. 法定報告にて積極的支援終了率が向上する。																													
H27年度実績	H28年度実績	H29年度目標																											
35.0%	41.0%	50.0%以上																											
6. 法定報告にて動機付け支援終了率が向上する。																													
H27年度実績	H28年度実績	H29年度目標																											
82.1%	87.6%	86.0%以上																											

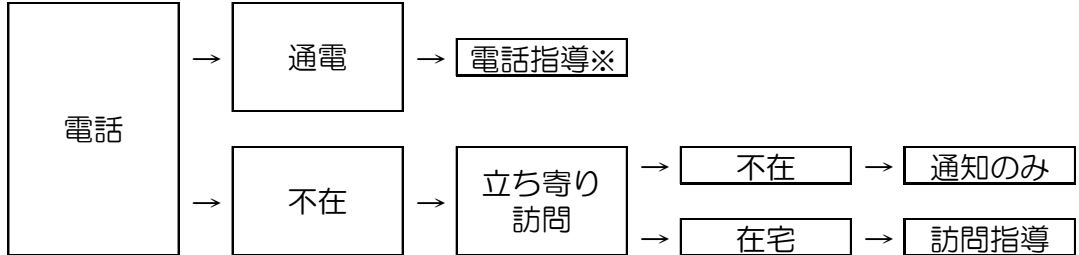
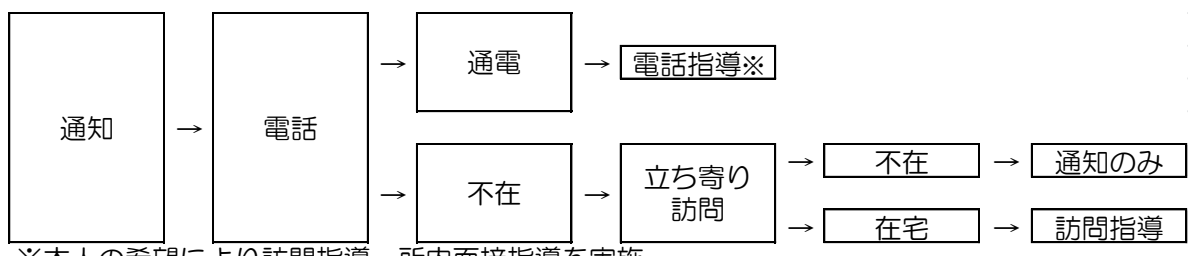
特定保健指導（積極的支援） 実施機関の拡大	ストラクチャー評価	1. 必要な職員の体制を確保できる。	1. 【状況】主担当は事務職1名。電話の対応フロー等、委託の仕様、会場の確保は班の職員5名（事務職3名、保健師2名）で行った。 【評価】事業実施に必要な職員体制が確保できた。
2. 必要な予算を確保できる。	2. 【状況】委託料8,283千円を確保。 【評価】事業実施に必要な予算が確保できた。		
3. 適切な委託先に委託できる。	3. 【状況】平成27年度に選考委員会を設け、企画提案方式で委託事業者を決定した。毎年度事業者を選定する予定だったが、6か月後評価まで平成28年度中に終わっておらず、新たに選考する基準を設けることが難しく、選考委員の了承を得て平成29年度は随意契約とした。 【評価】適切な委託先に委託できたと考える。		
4. 関連機関との連携体制を構築することができる。	4. 【状況】千葉県医師会及び健診委託機関と以下の方法で連携している。 千葉県医師会の特定健診精度管理委員会において、平成27年度に事前協議したほか、平成28-29年度に状況を報告した。毎年4月に実施している医療機関向け説明会と平成28年度から始めた特定保健指導研修会において、本事業を開始することを説明した。特に大きな問題は生じなかった。 【評価】連携体制を構築できたと考える。		
5. 保健指導実施会場を各区に確保できる。	5. 【状況】毎月各区1会場以上（土曜日午前中）確保することができた。 内、市中心部の中央区会場については毎週土曜日午前中と水曜日午前中を確保した。その他の曜日、時間帯には会場確保できなかった。 【評価】毎月各区に会場を用意することができ、前年度準備できなかった平日の会場も確保することができた。しかし、その他の曜日、時間帯は確保できず、次年度以降どのように確保するかが課題である。		

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価
特定保健指導（積極的支援）実施機関の拡大 プロセス評価	<p>1. 実施方法について健診委託機関の千葉市医師会とも協議し、実施できる。</p> <p>2. 民間特定保健指導事業者と定期的に協議しながら実施できる。</p> <p>3. 対象者に保健指導利用の必要性を伝えることができる。</p> <p>4. 対象者が中途脱落することなく、特定保健指導を活用することができるように連携を行うことができる。</p>	<p>1. 【状況】千葉市医師会とは特定健診精度管理委員会において平成27年度から事前協議し、平成28年度・平成29年度に全健診委託機関に対して説明会、研修会、手引きへの記載を通して周知を図った。平成29年度当初までは健診委託機関からも問い合わせがいくつかあったがその後ほとんどなかった。 【評価】必要に応じて千葉市医師会と協議しながら実施できた。周知も行っているが、281医療機関に委託しており、平成30年度も継続して各医療機関へ周知する必要がある。</p> <p>2. 【状況】事業実施前からはその都度協議し、実際に特定保健指導が開始されてからは、適宜報告と協議の場を設けて、実施方法について話し合った。その場で解決できなかった問題について、民間特定保健指導事業者から後日の回答を求めたが、次の月の協議の場まで回答がない場合もあった。 【評価】定期的に民間特定保健指導事業者と協議しながら実施できた。協議した内容を改善に結びつけられるような協議が必要であった。</p> <p>3. 【状況】民間特定保健指導事業者が提示する通知物の案を課内で協議して決めた。また、案内を受け取った対象者が開くようにするため特定健診啓発品（ティッシュ）を封筒に入れる工夫をしたり、申し込み案内を送付後に事業者が電話勧奨するようにした。 【評価】必要性を伝えられるように工夫したが、効果検証はできなかった。</p> <p>4. 【状況】継続的支援を含む支援の実施状況を民間特定保健指導事業者に報告してもらい、必要に応じて対象者ごとの状況を確認した。確認した際に、民間特定保健指導事業者から個人情報に当たるため個別の対象者の状況について回答できないとの答えがあった場合もあった。 【評価】中途脱落のないようにモニタリングを行ったが、民間特定保健指導事業者から開示されない情報もあり、委託の仕様に報告内容（項目）を明確に記載する必要がある。</p>

目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																																																				
<p>1. 民間特定保健指導事業者での特定保健指導を必要な対象者に案内することができた。</p> <p>2. 民間特定保健指導事業者への拡大により特定保健指導の利用率が向上する。</p>	<p>1. 【状況】平成 28 年度及び平成 29 年度特定健診受診者のうち 471 人に、民間特定保健指導事業者から案内及び申込書を送付した。申し込みがない方へは再度案内を通知した(表 19)。</p> <p style="text-align: center;">表 19 民間特定保健指導事業者の案内送付者数と紹介経路</p> <p style="text-align: right;">単位：人（％）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>医療機関からの紹介</td> <td>220 (46.7)</td> </tr> <tr> <td>利用勧奨からの紹介</td> <td>83 (17.6)</td> </tr> <tr> <td>利用勧奨不在等</td> <td>168 (35.7)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>471</td> </tr> </table> <p>※「利用勧奨不在等」とは、特定健診の結果説明時には民間への紹介対象ではなかったが、「医療機関で初回指導を受けていない方」かつ「利用勧奨時に不在等で状況が聞き取れていない方」</p> <p>【評価】特定保健指導を必要な対象者に案内することができた</p> <p>2. 【状況】案内対象の内 67 人（内、23 人水曜日初回面接）が利用開始につながった（表 20）。特に医療機関からの紹介が最も利用率が高い（表 20）。前年度の利用率と比較すると 3.2 ポイント増となっている（表 20）。民間特定保健指導事業者からの紹介の利用率（表 20）は、医療機関実施分も含めた法定報告の積極的支援利用率（表 21）よりも約 1 ポイント低い。</p> <p style="text-align: center;">表 20 民間特定保健指導事業者の利用者数と未利用者数</p> <p style="text-align: right;">単位：人（行％）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">利用者</th> <th rowspan="2">未利用</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>土曜日初回面接</th> <th>水曜日初回面接</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関からの紹介</td> <td>23 (10.5)</td> <td>13 (5.9)</td> <td>184 (83.6)</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>利用勧奨からの紹介</td> <td>7 (8.4)</td> <td>5 (6.0)</td> <td>71 (85.5)</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>利用勧奨不在等</td> <td>14 (8.3)</td> <td>5 (3.0)</td> <td>149 (88.7)</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44 (9.3)</td> <td>23 (4.9)</td> <td>404 (85.8)</td> <td>471</td> </tr> <tr> <td>参考：H28年度実績</td> <td>20 (11.0)</td> <td>-</td> <td>161 (89.0)</td> <td>181</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 21 法定報告の積極的支援の利用率、終了率</p> <p style="text-align: right;">単位：％</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積極的支援利用率</td> <td>7.7</td> <td>16.4</td> <td>15.8</td> </tr> <tr> <td>積極的支援終了率</td> <td>35.0</td> <td>41.0</td> <td>57.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【反応】・水曜日に利用することが出来てよかった。 ・土曜や水曜以外なら利用できる日もある。</p> <p>【評価】民間特定保健指導事業者への拡大により利用者、利用率は増えてきている。また、昨年度と異なり、水曜日会場も用意できたこともあり、利用率は昨年度比 3.2 ポイント増となっている。ただ、法定報告の全体の利用率より約 1 ポイント低く、対象者からは多様な実施日のニーズがあり、会場確保が課題である。現在、会場確保は千葉市が行っている。今後、初回面接日の会場確保として民間特定保健指導事業者が会場確保することや訪問指導など柔軟に日程調整できる方法が望ましいと考える。委託先を選定する際にその点を考慮する必要がある。</p>	医療機関からの紹介	220 (46.7)	利用勧奨からの紹介	83 (17.6)	利用勧奨不在等	168 (35.7)	計	471		利用者		未利用	計	土曜日初回面接	水曜日初回面接	医療機関からの紹介	23 (10.5)	13 (5.9)	184 (83.6)	220	利用勧奨からの紹介	7 (8.4)	5 (6.0)	71 (85.5)	83	利用勧奨不在等	14 (8.3)	5 (3.0)	149 (88.7)	168	計	44 (9.3)	23 (4.9)	404 (85.8)	471	参考：H28年度実績	20 (11.0)	-	161 (89.0)	181		H27	H28	H29	積極的支援利用率	7.7	16.4	15.8	積極的支援終了率	35.0	41.0	57.6
医療機関からの紹介	220 (46.7)																																																				
利用勧奨からの紹介	83 (17.6)																																																				
利用勧奨不在等	168 (35.7)																																																				
計	471																																																				
	利用者		未利用	計																																																	
	土曜日初回面接	水曜日初回面接																																																			
医療機関からの紹介	23 (10.5)	13 (5.9)	184 (83.6)	220																																																	
利用勧奨からの紹介	7 (8.4)	5 (6.0)	71 (85.5)	83																																																	
利用勧奨不在等	14 (8.3)	5 (3.0)	149 (88.7)	168																																																	
計	44 (9.3)	23 (4.9)	404 (85.8)	471																																																	
参考：H28年度実績	20 (11.0)	-	161 (89.0)	181																																																	
	H27	H28	H29																																																		
積極的支援利用率	7.7	16.4	15.8																																																		
積極的支援終了率	35.0	41.0	57.6																																																		

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																										
特定保健指導（積極的支援）実施機関の拡大 アウトカム評価	<p>1. 特定保健指導実施率が向上している。</p> <p>2. 利用者の生活習慣が改善し、体重、腹囲が減少している。</p>	<p>1. 【状況】民間特定保健指導事業者を利用し、支援が終了又は中断報告があった57人のうち、50人（87.7%）が終了しており（表22）、全体の57.6%より高い（表21）。</p> <p style="text-align: center;">表22 民間特定保健指導事業者の終了者と中断者</p> <p style="text-align: center;">単位：人（%）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>終了</td> <td>50 (87.7)</td> </tr> <tr> <td>中断者</td> <td>7 (12.3)</td> </tr> <tr> <td>計（利用者）</td> <td>57</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※継続支援中の10人は除く（平成30年11月末現在）</p> <p>【評価】中断者は少なく、実施率を高めている。</p> <p>2. 【状況】終了までいたった方の体重、腹囲を評価すると減少している人の割合が7割以上占めており、平均すると体重は-2.09kg、腹囲は-2.35cm減少している。</p> <p style="text-align: center;">表23 健診時と6か月後評価時の体重変化（n=54）</p> <p style="text-align: center;">単位：人（%）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>3.1kg以上減少</td> <td>14 (29.8)</td> </tr> <tr> <td>3.0kg-0.1kg以上減少</td> <td>22 (46.8)</td> </tr> <tr> <td>0kg-2.9kg増加</td> <td>10 (21.3)</td> </tr> <tr> <td>3kg以上増加</td> <td>1 (2.1)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表24 健診時と6か月後評価時の腹囲変化（n=54）</p> <p style="text-align: center;">単位：人（%）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>3.1cm以上減少</td> <td>15 (31.9)</td> </tr> <tr> <td>3.0cm-0.1cm以上減少</td> <td>19 (40.4)</td> </tr> <tr> <td>0cm-2.9cm増加</td> <td>12 (25.5)</td> </tr> <tr> <td>3cm以上増加</td> <td>1 (2.1)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表25 健診時と6か月後評価時の体重・腹囲の平均減少（n=54）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>体重減少平均（単位：kg）</td> <td>-2.09</td> </tr> <tr> <td>腹囲減少平均（単位：cm）</td> <td>-2.35</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※表15-17：6か月後評価時に連絡が取れなかった3人の終了者を除く。</p> <p>【評価】民間特定保健指導事業者は、体重・腹囲ともに減少している。</p>	終了	50 (87.7)	中断者	7 (12.3)	計（利用者）	57	3.1kg以上減少	14 (29.8)	3.0kg-0.1kg以上減少	22 (46.8)	0kg-2.9kg増加	10 (21.3)	3kg以上増加	1 (2.1)	3.1cm以上減少	15 (31.9)	3.0cm-0.1cm以上減少	19 (40.4)	0cm-2.9cm増加	12 (25.5)	3cm以上増加	1 (2.1)	体重減少平均（単位：kg）	-2.09	腹囲減少平均（単位：cm）	-2.35
	終了	50 (87.7)																										
中断者	7 (12.3)																											
計（利用者）	57																											
3.1kg以上減少	14 (29.8)																											
3.0kg-0.1kg以上減少	22 (46.8)																											
0kg-2.9kg増加	10 (21.3)																											
3kg以上増加	1 (2.1)																											
3.1cm以上減少	15 (31.9)																											
3.0cm-0.1cm以上減少	19 (40.4)																											
0cm-2.9cm増加	12 (25.5)																											
3cm以上増加	1 (2.1)																											
体重減少平均（単位：kg）	-2.09																											
腹囲減少平均（単位：cm）	-2.35																											
総合評価		<p>< 特定保健指導利用勧奨（未利用者勧奨及び継続利用勧奨） ></p> <p>本対策により積極的支援の利用率を高める効果があったと考える。一方で、対象者数の多い動機付け支援については利用率、終了率を高める効果は十分見られなかった。動機付け支援については、受診率の向上に伴い対象者が約600人増えたことも影響していると考えられる。</p> <p>電話による勧奨のため5割程度しか本人等と話せておらず、次年度から通知での勧奨を主とすることとした。また、効率的かつ効果的な勧奨として一部の対象者に対して電話勧奨を並行して実施することとした。</p> <p>< 特定保健指導（積極的支援）実施機関の拡大 ></p> <p>民間特定保健指導事業者や千葉市医師会と連携しながら事業を実施することができた。これらのことから、利用者を増やし、利用率の向上および終了率向上につながったと考える。終了率は全体の実績より高いものの、利用率については全体の実績よりも低く、10%代にとどまっており高める余地がある。</p> <p>次年度は企画提案方式にて事業者選定する際に、会場を事業者が準備できることや訪問指導などにより初回面接ができる事業者を選定することで利用率を向上させ、実施率を高めたい。また、実施状況の確認を行った際に民間特定保健指導事業者から十分な情報提供がなかったこともあり、事業実施中にどの程度のやり取りが可能かも含めて、平成30年度は再度企画提案方式で新たに事業者を選定する。</p>																										

(3)「適正な医療の推奨と重症化予防」
事業：「受療勧奨と保健指導」

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価
ストラクチャー評価	1. 医療機関に本事業について周知する 2. 予算の確保し、人員を確保する	1. 【状況】 千葉市医師会医療機関への特定健康診査説明会、千葉市医師会特定健康診査等精度管理委員会にて周知した。 【評価】 周知ができた。 2. 【状況】 平成 29 年度は非常勤嘱託職員に関する予算を確保した。 必要な報酬、共済費を以下のとおり確保した。 報酬 7,866 千円、共済費 1,281 千円 保健師 1 人、看護師 2 人（各週 4 日 28 時間）を通年雇用。 【評価】 事業実施に必要な予算、人員を確保した。
プロセス評価	1. 対象者へのアプローチ方法が適切だったか	1. 【状況】 前年度及び今年度の健診結果から 3,549 人が抽出され、概ね健診から 3 か月後にレセプトを確認し、受療済み 2,469 人（69.6%）、未受療 1,080 人であった。このうち、未受療者を本事業対象とした。 平成 29 年 4 月から 7 月までは、次の実施方法を行った（以下、旧実施方法）。 <div style="text-align: center;">  <pre> graph LR A[電話] --> B[通電] A --> C[不在] B --> D[電話指導※] C --> E[立ち寄り訪問] E --> F[不在] E --> G[在宅] F --> H[通知のみ] G --> I[訪問指導] </pre> </div> ※本人の希望により訪問指導、所内面接指導を実施。 平成 29 年 8 月以降からは前年度評価を踏まえて、通知をはじめに行った（以下、新実施方法）。 <div style="text-align: center;">  <pre> graph LR A[通知] --> B[電話] B --> C[通電] B --> D[不在] C --> E[電話指導※] D --> F[立ち寄り訪問] F --> G[不在] F --> H[在宅] G --> I[通知のみ] H --> J[訪問指導] </pre> </div> ※本人の希望により訪問指導、所内面接指導を実施。 【反応】 旧実施方法 <u>肯定的な反応</u> ・電話で再検査の必要性を知ることができた。 <u>否定的な反応</u> ・突然の電話に対して「はいはい」とあしらうような対応の者もいた。 ・市役所からの電話だとは信じられない。 新実施方法 <u>肯定的な反応</u> ・通知を読んで、受療行動をとる者がいた。 ・電話詐欺等を心配して知らない電話には出ないようにしていたが、直接来てもらって話を聞くことができた。 ・通知をみて気になったのでと、折り返しの電話があった。 ・電話で話をして再検査をどの医療機関で受けるか決めることができた。 <u>否定的な反応</u> ・通知を読んで、不快だった。このような受療勧奨はやめてほしい。 【評価】 事前に通知をし、複数のアプローチ方法を実施することで対象者に合わせた実施ができ、受療の必要性を伝えられた。一方で、受療勧奨されること自体が不快な対象者もいる。受療の必要性を伝えるとともに、医療機関で分かりやすい健診結果を説明してもらうように周知してもらうために今後も連携が必要である。

目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																																										
<p>2. 対象者に合わせた初回指導とその後6か月後の再指導を実施したことが適切だったか</p> <p>3. 保健指導するために質問票（標準的な質問票、基本チェックリスト一部抜粋）を活用したことが適切だったか</p>	<p>2. 【状況】1,080人の対象者に対して初回指導を実施し（表26）、指導後6か月時点でレセプトを確認し、受療済みの方には継続受療を促す通知し、未受療の方には電話、通知を行った（表27）。</p> <p style="text-align: center;">表 26 初回指導の最終指導実施方法 単位：人（%）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>訪問・面接</td><td>33</td><td>(3.1)</td></tr> <tr><td>電話</td><td>857</td><td>(79.4)</td></tr> <tr><td>通知のみ</td><td>190</td><td>(17.6)</td></tr> <tr><td>計</td><td>1080</td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">表 27 6か月後の再指導の実施方法 単位：人（%）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>電話</td><td>357</td><td>(33.1)</td></tr> <tr><td>通知のみ</td><td>570</td><td>(52.8)</td></tr> <tr><td>資格喪失等</td><td>153</td><td>(14.2)</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,080</td><td></td></tr> </table> <p>【反応】・医療機関に行こうと思っていたのにすっかり忘れていた。 ・何度も何度も言われても医療機関に行かないよ。 ・治療は受けに行かないが、とりあえず健診にはいってみる。</p> <p>【評価】対象者にあわせて指導を2度行うことができた。 対象者によっては、再度指導されることに否定的な意見もあるが、受療や健診受診につながる反応もあり、今後も再指導を継続する。</p> <p>3. 【状況】初回指導時に訪問・面接・電話で直接アプローチできた52.5%に対して、質問票（標準的な質問票、基本チェックリスト一部抜粋）を活用し指導した（表28）。再指導時にも、活用し38.7%に保健指導を実施した（表29）。</p> <p style="text-align: center;">表 28 初回指導時の質問票の実施率 単位：人（%）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>実施</td><td>467</td><td>(52.5)</td></tr> <tr><td>未実施</td><td>423</td><td>(47.5)</td></tr> <tr><td>計</td><td>890</td><td></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">表 29 再指導時の質問票の実施率 単位：人（%）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>実施</td><td>138</td><td>(38.7)</td></tr> <tr><td>未実施</td><td>219</td><td>(61.3)</td></tr> <tr><td>計</td><td>357</td><td>(100.0)</td></tr> </table> <p>【反応】肯定的な意見 ・質問票に基づくことで運動状況、栄養状況、喫煙状況などの話ができる者がいる。 否定的な意見 ・「はいはい」とあしらう人や要件を伝えると声のトーンが下がる人がおり、質問票を使った指導ができない者がいる。</p> <p>【評価】質問票に基づき指導することで生活習慣の確認役立つ、一方で、指導自体の受け入れが悪い人などでは活用が難しい場合もある。</p>	訪問・面接	33	(3.1)	電話	857	(79.4)	通知のみ	190	(17.6)	計	1080		電話	357	(33.1)	通知のみ	570	(52.8)	資格喪失等	153	(14.2)	計	1,080		実施	467	(52.5)	未実施	423	(47.5)	計	890		実施	138	(38.7)	未実施	219	(61.3)	計	357	(100.0)
訪問・面接	33	(3.1)																																									
電話	857	(79.4)																																									
通知のみ	190	(17.6)																																									
計	1080																																										
電話	357	(33.1)																																									
通知のみ	570	(52.8)																																									
資格喪失等	153	(14.2)																																									
計	1,080																																										
実施	467	(52.5)																																									
未実施	423	(47.5)																																									
計	890																																										
実施	138	(38.7)																																									
未実施	219	(61.3)																																									
計	357	(100.0)																																									

	目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価																																																																																			
アウトプット評価	1. 千葉市国民健康保険個別保健事業実施計画より1000人以上に指導を実施する 2. 初回指導時、電話指導前に通知することができる	1. 【状況】1,080人に対して電話、訪問、通知でアプローチをした。 【評価】目標とした実施人数に対して指導をすることができた。 2. 【状況】1,080人中、平成29年8月以降に初回指導対象となった644人（59.6%）に対して通知送付後に電話をした。 【評価】昨年度評価を経て改善したため、全対象者には通知ができなかったが、効果的な方法であり今後も継続する。																																																																																			
アウトカム評価	1. （短期）データヘルス計画より対象者の受療率を44.0%以上にする <table border="1" data-bbox="149 765 667 994"> <thead> <tr> <th>平成27年度実績</th> <th>平成28年度実績</th> <th>平成29年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36.6% (内、指導前受療率16.6%)</td> <td>30.3% (内、指導前受療率10.4%)</td> <td>44.0%以上</td> </tr> </tbody> </table>	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度目標値	36.6% (内、指導前受療率16.6%)	30.3% (内、指導前受療率10.4%)	44.0%以上	1. 【状況】 <u>受療率34.1%</u> 1,080人中、368人が受療につながった（表30）。 実施方法ごとの評価では、旧実施方法では23.9%だが、新実施方法では41.0%と約17ポイント高くなっている（表30）。 受療しない理由として、「病気ではない・元気などで大丈夫」（23.2%）や「食事等自分で頑張る」（13.9%）の本人の病識が十分ではないと考えられる場合と「医師に大丈夫と言われた」（16.4%）や「医師から具体的な指示なし」（15.1%）の医療機関での健診結果説明が本人に正確に伝わってないと考えられる場合が多い（表31）。 <p style="text-align: center;">表30 平成29年度実績</p> <p style="text-align: right;">単位：人（%）</p> <table border="1" data-bbox="793 1160 1896 1439"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価対象</th> <th colspan="3">平成29年度</th> </tr> <tr> <th>旧実施方法</th> <th colspan="2">新実施方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価対象</td> <td>1,080</td> <td>436</td> <td>644</td> </tr> <tr> <td>受療</td> <td>368 (34.1)</td> <td>104 (23.9)</td> <td>264 (41.0)</td> </tr> <tr> <td>A指導後受療</td> <td>262 (24.3)</td> <td>70 (16.1)</td> <td>192 (29.8)</td> </tr> <tr> <td>指導前受療</td> <td>106 (9.8)</td> <td>34 (7.8)</td> <td>72 (11.2)</td> </tr> <tr> <td>B未受療</td> <td>682 (63.1)</td> <td>321 (73.6)</td> <td>361 (56.1)</td> </tr> <tr> <td>国保資格喪失</td> <td>30 (2.8)</td> <td>11 (2.5)</td> <td>19 (3.0)</td> </tr> <tr> <td>参考：新指導後受療率A/(A+B)</td> <td>(27.8)</td> <td>(17.9)</td> <td>(34.7)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表31 受療しない理由（複数回答）</p> <p style="text-align: right;">単位：人（%）</p> <table border="1" data-bbox="968 1567 1719 2012"> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答者</td> <td>749</td> <td></td> </tr> <tr> <td>病気ではない・元気なので大丈夫</td> <td>174</td> <td>(23.2)</td> </tr> <tr> <td>医師に大丈夫と言われた</td> <td>123</td> <td>(16.4)</td> </tr> <tr> <td>医師の説明不足・具体的な指示なし</td> <td>113</td> <td>(15.1)</td> </tr> <tr> <td>食事等自分で頑張る</td> <td>104</td> <td>(13.9)</td> </tr> <tr> <td>ずっと同じ数値</td> <td>73</td> <td>(9.7)</td> </tr> <tr> <td>再検査予定有り</td> <td>60</td> <td>(8.0)</td> </tr> <tr> <td>忙しかった</td> <td>53</td> <td>(7.1)</td> </tr> <tr> <td>郵送のため伝わらず</td> <td>38</td> <td>(5.1)</td> </tr> <tr> <td>家族等と面接のため不明</td> <td>38</td> <td>(5.1)</td> </tr> <tr> <td>結果未確認</td> <td>29</td> <td>(3.9)</td> </tr> <tr> <td>治療を拒否</td> <td>25</td> <td>(3.3)</td> </tr> <tr> <td>不明・その他</td> <td>45</td> <td>(6.0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価】受療率は目標値を達成しなかったが、前年度より約4ポイント改善した。昨年度途中から実施方法を見直し、効果がでており改善していくことが見込まれる。未受療理由として本人の病識の不十分さがあり、病識が持てるような指導や健診実施機関との連携が必要である。第1期データヘルス計画では、本事業による受療ではない指導前受療や受療していたとしても評価できない資格喪失者も評価指標対象に含まれていることで事業評価が適切にできないところもあった。このため、第2期データヘルス計画ではこれらを加味して、新指導後受療率にて評価する。</p>	評価対象	平成29年度			旧実施方法	新実施方法		評価対象	1,080	436	644	受療	368 (34.1)	104 (23.9)	264 (41.0)	A指導後受療	262 (24.3)	70 (16.1)	192 (29.8)	指導前受療	106 (9.8)	34 (7.8)	72 (11.2)	B未受療	682 (63.1)	321 (73.6)	361 (56.1)	国保資格喪失	30 (2.8)	11 (2.5)	19 (3.0)	参考：新指導後受療率A/(A+B)	(27.8)	(17.9)	(34.7)	回答者	人数	割合	回答者	749		病気ではない・元気なので大丈夫	174	(23.2)	医師に大丈夫と言われた	123	(16.4)	医師の説明不足・具体的な指示なし	113	(15.1)	食事等自分で頑張る	104	(13.9)	ずっと同じ数値	73	(9.7)	再検査予定有り	60	(8.0)	忙しかった	53	(7.1)	郵送のため伝わらず	38	(5.1)	家族等と面接のため不明	38	(5.1)	結果未確認	29	(3.9)	治療を拒否	25	(3.3)	不明・その他	45	(6.0)
平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度目標値																																																																																			
36.6% (内、指導前受療率16.6%)	30.3% (内、指導前受療率10.4%)	44.0%以上																																																																																			
評価対象	平成29年度																																																																																				
	旧実施方法	新実施方法																																																																																			
評価対象	1,080	436	644																																																																																		
受療	368 (34.1)	104 (23.9)	264 (41.0)																																																																																		
A指導後受療	262 (24.3)	70 (16.1)	192 (29.8)																																																																																		
指導前受療	106 (9.8)	34 (7.8)	72 (11.2)																																																																																		
B未受療	682 (63.1)	321 (73.6)	361 (56.1)																																																																																		
国保資格喪失	30 (2.8)	11 (2.5)	19 (3.0)																																																																																		
参考：新指導後受療率A/(A+B)	(27.8)	(17.9)	(34.7)																																																																																		
回答者	人数	割合																																																																																			
回答者	749																																																																																				
病気ではない・元気なので大丈夫	174	(23.2)																																																																																			
医師に大丈夫と言われた	123	(16.4)																																																																																			
医師の説明不足・具体的な指示なし	113	(15.1)																																																																																			
食事等自分で頑張る	104	(13.9)																																																																																			
ずっと同じ数値	73	(9.7)																																																																																			
再検査予定有り	60	(8.0)																																																																																			
忙しかった	53	(7.1)																																																																																			
郵送のため伝わらず	38	(5.1)																																																																																			
家族等と面接のため不明	38	(5.1)																																																																																			
結果未確認	29	(3.9)																																																																																			
治療を拒否	25	(3.3)																																																																																			
不明・その他	45	(6.0)																																																																																			

目標値（評価項目・評価指標）	達成（未達成）状況の確認と評価
----------------	-----------------

2.（短期）質問票にて6か月後生活習慣の変化がみられる

2.【状況】初回指導および6か月後の指導の両方で聞き取りができた人の生活習慣を確認すると運動、食習慣ともに約3割以上が改善している（表32、表33）。

表32 運動習慣に関する改善状況

単位：人（%）

運動	再指導					計（初回）	
	A	B	C	D	E		
初回時	A	51	0	1	1	0	53
	B	18	2	0	0	1	21
	C	0	8	6	1	0	15
	D	1	3	4	12	2	22
	E	0	0	0	1	5	6
計（再指導）	70	13	11	15	8	117	
増減数	17	-8	-4	-7	2	-	
改善	35	(29.91)	変化なし	76	(64.96)	悪化	6

(5.13)

表33 食習慣の改善状況

単位：人（%）

食習慣	再指導					計（初回）	
	A	B	C	D	E		
初回時	A	53	0	0	0	1	54
	B	22	0	0	0	0	22
	C	0	11	5	1	1	18
	D	1	11	3	6	0	21
	E	0	0	0	1	2	3
計（再指導）	76	22	8	8	4	118	
増減数	22	0	-10	-13	1	-	
改善	49	(41.53)	変化なし	66	(55.93)	悪化	3

(2.54)

A:既に改善に取り組んでいる（6か月以上）
 B:既に改善に取り組んでいる（6か月未満）
 C:近いうちに改善するつもりであり、少しずつはじめています。
 D:改善するつもりである（6か月以内） E:改善するつもりはない。

【評価】指導により一部の対象者では、生活習慣の改善が見られている。

3.（長期）対象者が人工透析に至らず、医療費が削減できる

3.【状況】平成24～平成29年度に対象とした4,269人の中でKDB厚生労働省様式（様式2-2）（平成29年4月末）の透析患者一覧にいる人はいなかった。

【評価】人工透析導入を防いでいる。

4. 新規透析患者数の減少ができる

4.【状況】新規透析患者数 153人

【評価】目標を達成することができた。

平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度目標値
156人	155人	160人以下

アウトカム評価

総合評価

・データヘルス計画で定めた受療率は44.0%以上には達成しなかった。その主な原因は以下の2つと考える。

①指導前受療の低下

指導後受療は昨年度と同等の水準であるが、指導前受療が低下した。指導前受療はレセプト発生の遅れにより生じることであり、本事業のアウトカム評価指標である受療率に含めるのは適切ではなかったと考える。次期データヘルス計画では、新指導後受療率を評価指標とするよう見直している。

②対象者抽出基準の変更による対象者拡大

目標受療率は、平成27年度のデータヘルス計画策定時に、平成24～26年度の受療率増加傾向を踏まえて策定した。一方で、より早期に受療を始め重症化を予防することを目的として、平成27年度及び平成28年度に、リスクの低い者を対象とするよう段階的に基準を変更し、対象者が拡大した（H26 485人→H27 979人→H28 1,290人）。リスクの低い者は受療率が低い傾向にあり、受療率は平成27年度以降低下傾向にある。次期データヘルス計画では、現在の対象者抽出基準を前提として目標値を設定することが適切と考える。

・指導後受療は、平成29年度途中から事前通知を実施したことにより改善している。改善の理由としては、事前に通知し治療・再検査の必要性や病気の特徴をより伝えることができ、病識を高められたことによると考える。今後もモニタリングをしながら適時指導方法の見直しをはかり、その際に、未受療理由にみられる本人の病識を高められるような方法を考えながら実施していく。

・プロセス評価にあるとおり、健診結果からの抽出時点で既に受療している人（レセプト確認時受療率）が69.6%と、3人に2人以上は健診後速やかに受療している。医療機関に対して本事業を周知しており、健診結果返却時の丁寧な説明に配慮いただいた結果と受け止めている。一方で、アウトカム評価にあるように未受療理由を聞き取ると「医師に大丈夫と言われた」（16.4%）や「医師から具体的な指示なし」（15.1%）が多く、一部の人には健診結果が正確に伝わっていない可能性もある。今後も千葉市医師会・医療機関と連携し、受療が必要な方を受療につなげていく。